

科目名	経営学入門				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2021年度 前期	単位数	2		
担当教員	青木 孝弘				
内容および計画	この授業は、これから企業や経営について学ぶ皆さんの入門科目です。経営学で学習する基礎的な事項が分かるようになり、経営学に興味を持ってもらうことが目的です。企業とはどのような存在なのかを理解すること、企業を見る目を養うことは、各自が研究の方向性を考察する上で、また将来のキャリア設計にとっても有益です。				
1	ガイダンス（授業の進め方、評価方法、受講者の関心等）				
2	企業と会社①（株式会社を中心に）				
3	企業と会社②（コーポレート・ガバナンスを中心に）				
4	組織マネジメント①（組織構造）				
5	組織マネジメント②（日本型経営）				
6	経営戦略①（企業戦略、ドメイン）				
7	経営戦略②（競争戦略、多角化、提携）				
8	これまでのまとめ（中間試験）				
9	企業の社会的責任				
10	リーダーシップを知る①				
11	リーダーシップを知る②				
12	生産管理				
13	国際経営				
14	中小企業とベンチャーを知る				
15	データ、情報技術の活かし方を知る				
<b>教科書</b>					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『経営学入門ベーシック+プラス』	藤田 誠	中央経済社	9784502133916	2015
その他、講義資料・データ等を配布します。					
参考書	<p>【サブテキスト】 明治大学経営学研究会（2015）『経営学への扉[第5版]』 白桃書房</p> <p>【参考書】</p> <p>P.F.ドラッカー（2001）『[エッセンシャル版]マネジメント 基本と原則』 ダイヤモンド社</p> <p>望月 護（2010）『[新版]ドラッカーの実践経営哲学』 PHP ビジネス新書</p> <p>『よくわかる現代経営[第5版]』（2017） ミネルヴァ書房</p> <p>洞口治夫・行本勢基（2012）『入門・経営学—はじめて学ぶ人のために—[第2版]』 同友館</p> <p>小山巖也・出見世信之・谷口勇仁（2017）『問いからはじめる現代企業』有斐閣ストゥディア</p>				
<b>成績評価</b>					
	評価方法				割合(%)
	筆記試験（中間試験・期末試験）				50
	課題レポート（2回）				30
	ニュース調査報告				12
	授業への積極的な関与（出席、発言、ミニッツペーパー）				8

<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験は、中間と期末に行います。</li> <li>・課題レポートを2回、新聞の調査報告書を1回、実施します。</li> <li>・各回出席状況を確認します。</li> </ul>	
<b>学習到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業とはどのような存在なのか、を理解する経営学の基礎知識を身につけること。</li> <li>・企業に関する様々な情報に触れ、問題の所在とその背景、対応が分かるようになること。</li> </ul>
<b>先修条件</b>	特になし。
<b>実務経験</b>	実務経験あり：名古屋市内の会計事務所（3年）、ワシントンDCの経営コンサルティング会社（1年）において会計支援・コンサルティング業務に従事後、地域活性化分野で社会的企業を創業。コミュニティビジネス、観光まちづくり、地場産業振興に15年以上従事してきた。この経験をもとに、経営管理とリーダーシップの基礎について教授する。
<b>その他</b>	授業では、企業活動に関する時事問題について、毎回取り上げ、解説します。受講者は、各自新聞や雑誌を読み、関心のある記事を提出、紹介することが望まれます（隔週）。